

【Chat Dealer】HTML コード連携マニュアル

第 1 版 2021. 1. 15

目次

概要.....	3
HTML コード連携機能の実行条件.....	4
設定.....	4
注意事項.....	7

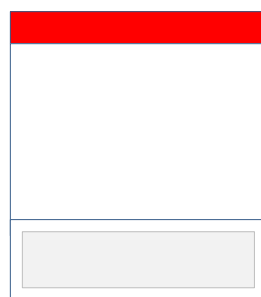
概要

- ・本書は、「HTML コード連携」の利用方法と注意事項について記述しています。
- ※HTML コード連携機能を利用するためには、API 連携オプションの申し込みが必要です。

この機能は ChatDealer を設置する HTML コード内に訪問者情報を埋め込んでいただき
お客様サイトで管理されている訪問者情報を ChatDealer に同期する機能です。
また、連携された訪問者に対してチャットが行われます。

ChatDealer を設置している
お客様サイト

お客様サイトの PV 時に、訪
問者情報が ChatDealer に連
携されます。



CD を呼び出すための設置タグ

```
<script type="text/javascript">
<!--
var vgUser={
  name: 'らくす太郎',
  tell: '090-0000-0000',
  mail: 'chatdealer@rakus.co.jp',
  ...
};
var
vgHo
tps', vgHr = '10'; vgHx = '10/24/2011'; vgHd = '10/24/2011';
;
...

```

お客様サイトで管理している顧客情報を動的に設定する。
※お客様サイト側で実装が必要です。



連携された訪問者でチャットが開始
されます。

HTML コード連携機能の実行条件

- ・ API 連携オプションの申し込みが必要です。
- ・ 訪問者情報の連携が有効になっている必要があります。
- ・ 連携項目設定が完了している必要があります。
- ・ 本機能の特性上、設置パターン「同一画面内で表示」でのみご利用できます。
- ・ チャットを設置するサイトに HTML コードを埋め込んでいただく必要があります。

設定

1. 訪問者情報の連携設定を有効にしてください。

HTML コード連携を行うためには、訪問者情報の連携を有効にする必要があります。

初期設定	訪問者情報の連携
操作権限	Chat Dealerと他社のサービスを連携することができます。 埋め込みタグに顧客情報を設定することで、訪問者情報に顧客情報が連携されます。
公開	
連携	
訪問者情報の連携	
連携項目	有効/無効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
外部API呼び出し	
APIトークン	
アクセス制限 (API)	
Mail Dealer連携	
LINE連携	
添付ファイル	
	HTMLコード
	連携する項目や外部API呼び出しのイベントを設定した後、 公開 > 設置パターン > 同一画面内で表示 画面でHTMLコードをコピーして、 チャットを設置したいページのHTML内に貼りつけてください。
	<input type="button" value="保存"/>

有効にして、設定を保存してください。

2. 訪問者情報の連携項目を設定してください。

ChatDealer の訪問者の項目を、お客様サイトの訪問者の項目と紐付けるための設定を行います。

連携キー項目は、訪問者情報を紐付けるためのキー情報となり、ChatDealer の訪問者情報に連携キーへ指定された値を持つ訪問者が存在した場合、その訪問者に対してチャットのやり取りや訪問者情報の更新が行われます。

3. 設置パターンの同一画面内で表示にある HTML コードをお客様サイトに埋め込んでください。



```
<script type="text/javascript">
<!--
var vgUser={
  user_name: '【名前】',
  tell: '【電話番号】',
  mail: '【メールアドレス】'
};
```

サイト表示時に設置 HTML コードへ最新の訪問者情報を設定ください。

設定いただいた情報で ChatDealer 側の訪問者情報を更新し、チャットを開始します。

※こちらはお客様サイト側での実装が必要です。

※JavaScript の文字列には改行を含めることはできません。改行される場合、JavaScript の特殊文字「¥¥n」をご使用ください。

上記の例の user_name, tell, mail は連携項目の設定で指定した連携項目名 (識別文字)

注意事項

・HTML コードの設定について

HTML コード連携を行うためには、HTML コード内の JavaScript 変数 vgUser に正しい値を設定する必要があります。

vgUser が正しく設定されていなかった場合、チャットは HTML コード連携なしで通常起動されます。

vgUser の記載	vgUser の 連携キー項目の値	vgUser の訪問者情報の値	チャットの起動方式
記載なし			通常起動
記載あり	Null		通常起動
	あり	不正なデータが含まれる*	通常起動
		全て正常なデータ	HTML コード連携起動

* 連携キー項目に指定された訪問者情報項目の入力形式チェックが「メールアドレス」の場合

メールアドレス形式でない値が設定されると不正なデータと判定します。

その他の形式の入力形式チェック、入力必須、入力文字数の上限についてのチェックは行いません。

・HTML コード連携のデータ上限

HTML コード内の vgUser に指定できる訪問者情報の値の上限は、1 項目毎に 300 文字までとなります。

300 文字を超えた場合、300 文字目までの内容で連携します。(301 文字以降は切り捨てられます)